

# 公式記録員【C級】課題プリント①

## 9.05 安打

(a)

- 遊撃手が処理すればアウトにできたと判断できる打球に対して、三塁手が飛び出してデフレクトしたり、カットして処理しようとしたが結局プレイができずに終わったような場合 → 安打を記録 。
- フェアボールが不自然にバウンドしたために、野手の普通の守備では処理することができなくなって、打者が安全に一塁に生きたと判断した場合  
→ 安打を記録 。
- 打球が野手に触れる前にプレート、ベースに触れたために、野手の普通の守備では処理することができなくなって、打者が安全に一塁に生きたと判断した場合  
→ 安打を記録 。
- 野手に触れていないフェアボールが、、の身体または着衣に領域で触れた場合には安打を記録 。ただし、打者がインフィールドフライに触れてアウトを宣告されたときには安打は与えられない。
- 打者を扱った野手が、先行走者をアウトにしようと試みたが成功せずしかもその打球に対して普通に守備をしても、一塁で打者走者をアウトにできなかったと記録員が判断した場合はを記録する。  
一塁に送れば打者走者をアウトにできた場合で、先行走者をアウトにしようと試みたが成功しなかった場合は、になる。

• 打球に対して非常な好守備を行ったが、続くプレイが十分でなくアウトをとることができなかった場合などには、安打を記録  のが安全な方法である。

• 本条各項の適用にあたって疑義のあるときは、常に  に有利な判定を与える。

(b)

• 打者の打球で、走者が封殺 () されるか、または、野手の失策によって封殺を免れたような場合、たとえば、1アウトランナー一塁で打者がセンターゴロを打ち、一塁走者が二塁でアウトになった場合などは、安打にならない。

• 打球を扱った野手が、直ちに打者走者に向かわないで、わずかに他の走者をうかがったり、他の塁へ送球するふりをしたために送球が遅れて、打者を一塁に生かした場合は、打者に安打を記録 。

• 打球を処理しようとする野手を妨害したために、走者がアウトを宣告された場合は安打を記録 。ただし、その打球を記録員が安打と判断できる打球だった場合は、安打を記録 。

• 野手が触れていないフェアボールが走者に触れた場合は、安打を記録 。

## 公式記録員【C級】課題プリント②

### 9.06 単打・長打の決定

(a)

- 次の(b)(c)の場合を除いて、打者が一塁で止まれば単打、二塁で止まれば二塁打、三塁で止まれば三塁打、本塁に触れて得点すれば本塁打とする。

(b)

<先行走者がアウトになる機会があったとき>

- 先行走者が本塁でアウトになるか、失策のためにそのアウトを免れた場合に打者が三塁を得ていた → 三塁打と記録
- 一塁走者が三塁へ進もうとして三塁でアウトになるか、失策のためにそのアウトを免れた場合 → 二塁打と記録

<先行走者がアウトになる機会がなかったとき>

- 先行走者がアウトにされる機会がなかったときは、先行走者の進んだ塁数に関係なく、その打者の塁打数を決定する。
  - ①走者一塁、打者が右前に安打、右翼手は三塁に送球したが、走者は三塁に生き、打者は二塁を得た。 →  打と記録

②走者二塁、打者がフェア飛球の安打を放った。走者は捕球を懸念してリードが少なく、三塁を得たに過ぎなかった。この間に打者は二塁へ。球は内野手に返球されただけ。 →  打と記録

③走者三塁、打者の打球は高いフェア飛球となる。一度リードをとった走者は、捕球されると見て帰塁した。ところが、捕球されずに安打となったが、走者は得点できず、打者はこの間に二塁を得た。球は内野手に返球されただけ。 →  打と記録

(f)(g)

- 最終回に安打を放って勝ち越し点をあげた場合、打者には勝ち越し点をあげた走者とその安打で進んだ塁と同じ数だけの塁打しか記録されない。しかも、打者がその数だけの塁に触れることが必要である。

【例1】9回裏同点で走者二塁のとき、打者が外野へ安打を放ち、一塁を経て二塁へ向かったが、二塁に達するわずか前に二塁走者が本塁に達した。

- ①打者走者が二塁に達した →  打と記録
- ②打者走者が二塁に達する前にベンチに帰った →  打と記録

【例2】9回裏同点で走者三塁のとき、打者が外野へ安打を放ち、一塁を経て二塁へ向かったが、二塁に達するわずか前に三塁走者が本塁に達した。

- ①打者走者が二塁に達した →  打と記録
- ②打者走者が二塁に達する前にベンチに帰った →  打と記録

【例3】9回裏同点で走者三塁のとき、打者がフェンス越えの本塁打を放って試合を決した。 →  打と記録

# 公式記録員【C級】課題プリント③

## 9.08 犠牲バント・犠牲フライ

- 「犠牲」がつくつかないかで、打数が1か0で変わってくるため、打率に影響が出る。

### <犠牲バントについて>

- (a)
- 犠牲バントの「犠牲」とは、がをために、自身

が機会を犠牲にしたという意味。

この機会を犠牲にしたかどうかを決定するにあたって疑義のあるときには、常に有利に扱う。

記録員は、その打席の状況全体（、、）を考慮に入れなければならない。

- (b)
- ①普通の守備では、とうてい打者を一塁でアウトにすることは不可能であると記録員が判断したとき
  - ②バントの打球を扱った野手が、先行走者を一塁でアウトにしようとして不成功に終わった場合
- ①②の場合には、打者にを記録し、とはしない。

- バントを扱った野手が、他の走者を気にしたために送球が遅れて、打者を一塁に生かした場合には、打者にを記録し、とはしない。

(c)

- 打者のバントで次塁へ進もうとする走者のうち1人でも次の塁でアウトにされたときは、犠牲バントに.

当然走者がアウトになった場面で、野手のミスプレイによって走者が生かされた場合は、犠牲バントに.

そのミスプレイがなくても走者が進塁できると判断した場合には、犠牲バントに.

ミスプレイがなくても走者が進塁できると判断した場合に、悪送球などで走者が余分の塁を得た場合には、とを記録する。

### <犠牲フライについて>

#### (d)犠牲フライを記録する場合

- フェア地域とファウル地域を問わず、外野手または外野の方まで回り込んだ内野手が、

①捕球した後、が場合。

②捕球ミスしたときにが場合で、そのミスがなくても、捕球後、がと記録員が判断した場合

①②の場合に犠牲フライを記録する。

## 公式記録員【C級】課題プリント④

### 9. 12 失策

(a)(b)(c)

• はっきりとしたミスプレイを伴わない緩慢な守備動作 → 失策と記録

• 野手がボールに触れたか否かが、失策となる判断基準にならない場合もある。

【例1】記録員が捕れると判断できるような平凡なゴロに対し、野手が守備体制に入ったが、野手に触れないで、その股間を通り抜けた場合

→ 失策と記録

【例2】記録員が捕れると判断できるような平凡なフライに対し、野手が守備体制に入ったが、野手に触れないで、地面に落ちた場合

→ 失策と記録

【例3】記録員が捕れると判断できるような平凡なゴロが、その野手の横を通り過ぎた場合 → 失策と記録

• 送球が、低すぎる、高すぎる、横にそれる、地面に当たるなどした場合に、アウトになるはずの走者を生かしたとき、その送球をした野手に失策を記録する。

送球が地面などにあってイレギュラーして捕球できなかった場合は、球した選手に失策が記録される。

• 頭腦的誤り、判断の誤りは、原則として失策と記録 。

【例】投手が一塁ベースカバーに入らないで打者走者を生かした場合、投手に失策を記録 。

• 野手が、普通の守備行為でなら捕らえることができると記録員が判断できるファウル飛球を落として、打者の打撃時間を延ばした場合は、その野手に失策を記録 。その後打者が一塁を得たかどうかには関係しない。

• 野手がゴロを捕るか、送球を受けて、塁または走者（打者走者）に触球すれば十分アウトにできたにもかかわらず、触球し損じたがために、打者走者を生かした場合、その野手に失策を記録 。

• 走者が盗塁を企てたとき、盗塁を防ごうとした野手が悪送球をした場合、を記録する。

• 打者が三塁打と思われる安打を放って、一塁を経て二塁に進むときに一塁手に走塁を妨げられ、審判員が打者に三塁を与えた場合は、打者に塁打を記録し、オブストラクションをした一塁手に失策を記録 。

• 一塁走者が一二塁間でランダウンされたとき、二塁手がオブストラクションをしたために、審判員がその走者に二塁を与えた場合は、オブストラクションをした二塁手に失策を記録 。

## 公式記録員【C級】課題プリント⑤

(d)(e)(f)

- 走者が盗塁を企てたとき、捕手が盗塁を防ごうとして悪送球した場合、捕手に失策を記録 。ただし、盗塁を企てた走者が、その悪送球を利用して、目的の塁以上に進むか、あるいはその悪送球に乗じて、他の走者が1個以上進塁したと記録員が判断した場合には、その捕手に失策を記録 。
- 野手が難球に対して非常に好守備をしたが、体勢が崩れたために悪送球をした場合で、送球がよければ打者または走者をアウトにできたかもしれないと思われる場合には、その野手に失策を記録 。しかし、その悪送球を利用して、いずれかの走者が余分な塁に進んだ場合は、悪送球をした野手に失策を記録 。
- 野手が、併殺または三重殺を企てた場合、その最後のアウトをとろうとした送球が悪送球となったときは、このような悪送球をした野手に失策を記録 。ただし、その悪送球のために、いずれかの走者が余分な塁に進んだ場合は、悪送球をした野手に失策を記録 。
- 併殺または三重殺のとき、最後のアウトに対する好送球を野手が落としたときには、その送球を落とした野手には失策を記録 。
- 暴投、捕逸、ボーク→失策と記録 。

### 9. 14 四球・故意四球

- 1つの四球に対して2人以上の打者が関与したときは、に四球の記録が与えられる。

### 9. 15 三振

- 1打席に2人以上の打者が関与して三振に終わったときは、が宣告されたときに打撃についていた打者にとを記録する。
- 1打席に2人以上の打者が関与して三振以外に終わったときは、すべて、の打者の行為として扱う。